

第 29 号 2014 年 9 月 18 日配信

発行：アストロデザイン株式会社

<http://www.astrodesign.co.jp/japanese>

皆様こんにちは。

9月に入り気温も秋らしくだんだんと涼しくなり過ごしやすくなってきました。

先日、窓を開け放しにし、扇風機をかけたまま寝たところ、翌朝頭痛がひどく、午前中は動くのもつらくひどい思いをしました。夜中は冷え込むので気を付けて下さい。

さて今回は4K試験放送を技術トピックに取り上げ、関連の製品を紹介していますので、ぜひ最後まで御覧ください。



目次



【技術トピック】



●12インチ4Kモニタ

● CEATEC JAPAN

● SEATBELT SAFETY 2011 (席ベルトセーフティ 2011) 10/7/11



【技術】



4K 両版の二上

高度狭帯域伝送方式（東経 124/128 度 CS デジタル放送）、4K60P、HEVC 規格により放送されています。試験放送ということで無料放送なのですが、既存のハイビジョン放送の 4 倍となる高画質な解像度です。当面の間は 13 時から 19 時の 1 日 6 時間程度の放送となるそうです。番組としては、当初紀行番組やスポーツ番組、有名ミュージシャンのライブなど 15 番組が繰り返し放送され、今後は放送局の協力を得ながら「順次番組の数を増やしていく」ようです。

4K 試験放送の視聴に必要なものとして、

- (1) 4K放送に対応したテレビ（4Kテレビ）
 - (2) ハイスピードHDMIケーブル（カテゴリー2対応）

- (3) 4K 放送対応チューナー（※現時点では外付けのみ）
 - (4) スカパー！IC カード
 - (5) 124/128 度 CS デジタルのアンテナ（スカパー！プレミアムサービス対応）
- ただし、4K テレビならどの機種でも 4K が映るわけではないようです。視聴できるのは、原則として今年以降に発売された新世代の 4K テレビに限られるようです。それ以前の旧世代の 4K テレビやフル HD のテレビでは、残念ながらそのままでは映らぬ、なぜならば、4K のコンテンツをテレビで映す際の技術仕様が、ようやく昨秋になって固まったからです。今年以降の新世代モデルの多くはこの仕様に適合しているので、当面は安心して使える下地が整ったといえるでしょう。一方、旧世代の 4K テレビは、ソフトウェアの無償アップデートなどでメーカーが対応する見通しのようです。機種によっては基板の交換が必要なので、有償になる可能性もあるそうです。

そんな中、先月末に BS での試験放送を 2016 年に開始するとの発表が有りました。従来は 2020 年に始める予定だったのですが 4 年前倒とし、さらに本放送を 2018 年開始を目指し、東京オリンピックまでに一定の普及を図る考えのようです。

総務省は、CS に加えより視聴者の多い BS での試験放送を前倒しすることで、4K テレビの普及を図り、高精細技術を経済波及につなげてく狙いを示し、国内の 4K テレビを 2020 年時点で 2700 万台の普及で、52% の世帯普及率が見込まれるとの予測を示しています。

2020 年の目指す姿として、「東京オリンピックの数多くの中継が 4K・8K で放送されている」、「4K・8K 放送が普及し、多くの視聴者が市販のテレビで 4K・8K 放送番組を楽しんでいる」というビジョンが現れているような感じがします。今後の動向に期待したいと思います。



【新製品フラッシュ】



●12 インチ 4K モニター DM-3413

小型で軽量な 4K 液晶モニターです。12 インチの小型でありながら 4K 映像をドットバイドットで表示することができます。

4K カメラ映像出力で利用されている 3G-SDI × 4 出力に対応しており、撮影現場での利用に適しています。3G-SDI Level A、Level B と HD-SDI 入力に対応しています。

■特長

- 12.1 インチ液晶パネル採用
- モニター解像度：水平 3840pixel × 垂直 2160pixel
- 色深度：RGB 各 8bit

●視野角：上下 160° 左右 160°

●コントラスト：1000:1

●画像調整機能

●ピーキング機能

●DC 電源：12V～16V に対応

<http://www.astrodesign.co.jp/japanese/product/dm-3413>

————【事例・製品に関するお問い合わせ先】————★

営業本部 [TEL:03-5734-6301](tel:03-5734-6301) FAX:03-5734-6102

大阪営業所 [TEL:06-6328-8558](tel:06-6328-8558) FAX:06-6328-5058

<http://www.astrodesign.co.jp/japanese/contact.html>



【イベント情報】



【ご来場をお待ちしております】

・ CEATEC JAPAN 2014

会場：幕張メッセ

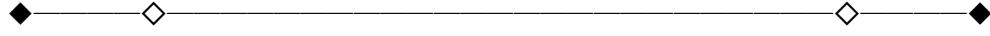
(超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム (URCF) ブース内)

会期：10月7日(火)～11日(土)

<http://www.astrodesign.co.jp/japanese/event/event-20140917-1929.html>



【編集者便り】



8月23日に多摩川花火大会を見に行ってきました。先月のメルマガに載せようと思っていたのですが、締め切りに間に合わず今回にしました。

多摩川花火大会は、世田谷区たまがわ花火大会と川崎市制記念多摩川花火大会の両大会を合わせたもので、「二子玉川花火大会」と呼ばれる事もあるそうです。

住んでいる所から打ち上げ花火は見えるのですが出来れば近くでと、そして今年は川崎市制90周年記念ということもあり出かけました。午後7時から8時までの1時間。世田谷区から約6,000発、川崎側から約6,000発と約12,000発の花火が夜空を彩っていました。

会場に着くなり見物人でごった返し、移動するのが困難な状態でした。通路には警備員が「この場所は通路になっています。立ち止まらずお進み下さい」とアチラコチラで叫んでいました。そんな中僅かな場所でしたが確保することができ、「これから花火大会を始めます」とアナウンスが流れると打ち上げ花火が上がり打ち上げ地点の近くで思わずびっくりしました。

やはり都会の花火大会は規模が違います。花火の数、見学者数。後で知ったのですが約29万人が見に来ていたそうです。来年もまた見に行ければと思っています。



最後までお読みいただきありがとうございました



本メールは、過去にアストロデザインが主催・出展するセミナーやイベントにご来場いただいた方、名刺交換させていただいた方および、本メールサービスに登録申し込みをしていただいた方へ配信しております。

※配信解除や登録内容の変更をご希望のお客様は、本メールの下部をご覧ください。



Twitter : <https://twitter.com/AstrodesignInc>

facebook : <http://www.facebook.com/astrodesigninc>

* メルマガ、ホームページにはない情報も配信します。



◆新規登録・登録内容の変更や配信停止はこちらからお願いします。

<http://www.astrodesign.co.jp/japanese/astro/mailmag/index.html>

※新規登録をご希望の方がいらっしゃいましたら是非ご紹介下さい。

◆その他ご意見・ご感想、ご興味のあるテーマ、取り上げて欲しいテーマ等
ございましたら下記編集部までお気軽にご連絡下さい。

<https://www.astrodesign.co.jp/japanese/form/mailform.cgi?type=default>

※このメールは送信専用のメールアドレスから配信しています。

このメールアドレスに返信いただいても、お答えできませんのでご了承ください。



本メールの内容の無断複製、転載は禁じます。

本メールマガジンの著作権はアストロデザイン株式会社に帰属します。

Copyright 2012 ASTRODESIGN, Inc. All rights reserved.

